ifbrand

Trywin

# 取扱説明書（保証書付）
# 車載用ワンセグデジタルチューナー
# DT-2500

1SEG ワンセグ

保証書添付

このたびはトライウイン車載用ワンセグデジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

　この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』（4～7ページ）は、ご使用の前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに巻末の『保証書』とともに大切に保管してください。
事故防止のため、運転中は絶対にテレビを見たり、操作をしないでください。
この商品は、海外ではご使用になれません。 For use in Japan only.

# 本製品について

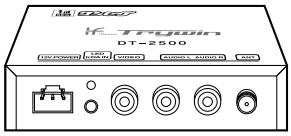


本機は車載用のワンセグデジタルチューナーです。
カーナビや、車載用テレビなど、外部入力端子（映像入力・音声入力）の付いた機器に接続することにより、地上ワンセグ放送をご覧になることができます。
本機は、データ放送・緊急警報放送には対応していません。

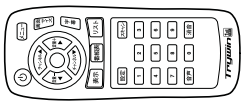
# 商品構成

本機には次のものが同梱されています。設置、接続の前に必ずご確認ください。
万一、不足していたり破損している場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

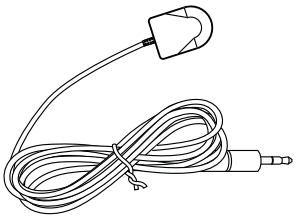
チューナー本体（1台）



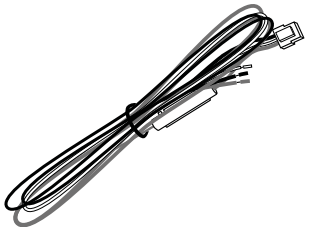

ワイヤレスリモコン（1個）
（電池付：CR-2025）



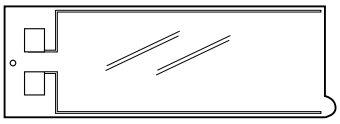
リモコン受光部（1個）
（両面テープ付）：約3 m



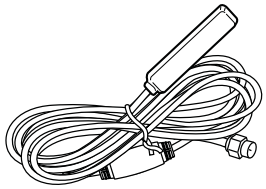
電源用コード（1本）：約2 m



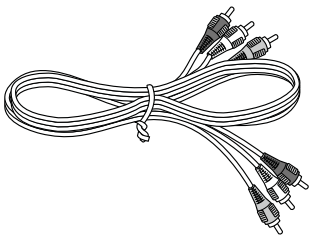
フィルムアンテナ（1個）



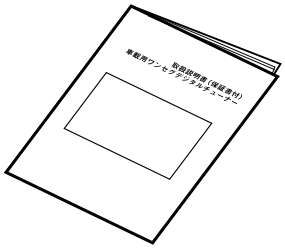
アンテナコード（1本）
（アンプ内蔵）：約4 m



映像・音声コード（1本）
：約3 m



取扱説明書（1冊）
（本書・保証書付き）



付属品の仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。
この説明書のイラストや、画面は説明用のイメージであり、実際と異なる場合があります。

# もくじ


## はじめに

本製品について.....2
商品構成.....2
もくじ.....3
安全上のご注意.....4
取り扱い上のご注意.....8
ご使用の前に.....9

## 準　備

各部の名前.....10
　本体.....10
　リモコン.....11
リモコンの準備.....12
　リモコン用電池の入れかた.....12
　リモコン操作をするには.....12
電源をオン / オフするには.....13
　電源をオンにする.....13
　電源をオフにする.....13
初めてお使いになるとき.....14
　放送局を登録する.....14

## 基本操作

テレビ放送を見るには.....16
　チャンネル上 / 下（▲ / ▼）ボタンを押してチャンネルを順に選ぶとき.....16
　数字ボタンを押して直接チャンネルを選ぶとき.....16
　音量を調節するには.....17
　一時的に音を消すには.....17

## 便利な機能

いろいろな操作.....18
　チャンネルリストを表示して選局する.....18
　放送の情報を表示する.....18
　EPG（電子番組表）を表示する.....19
　字幕の表示 / 非表示を切り替える.....19
　音声を切り替える.....20
　画面サイズを変更する.....20
メニュー画面を使って操作をする.....21
　操作のしかた.....21
　アイコンの説明.....22
セッティング画面の操作.....23
　操作のしかた.....23
　アイコンの説明.....24

## 設置と接続

設置と接続について.....25
　設置とアンテナ取り付けの準備.....25
アンテナの取り付け.....26
接続をする.....28

## 知　識

故障かなと思ったら.....29
仕様.....30
保証とアフターサービスについて.....31
保証書.....裏表紙

# 安全上のご注意



お使いになる本人や周囲の人々への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫ることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | 人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。 |

## 絵表示の例

| | |
|---|---|
| ⚠ | この記号は、注意をしなければならない内容を表しています。枠の中や近傍に具体的な注意内容が描かれている場合もあります。 |
| ⃠ | この記号は、禁止される行為を表しています。枠の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれている場合もあります。 |
| ❗ | この記号は、行わなければならないことを表しています。枠の中や近傍に具体的な注意内容が描かれている場合もあります。 |

## ⚠ 危険

### 本体を、運転時の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所に取り付けない

⃠ 禁止　交通事故やけがの原因となります。

### 運転者は走行中に操作をしたり、テレビを見たりしない

⃠ 禁止　走行中に操作をすると、事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行ってください。

### エアバックの動作を妨げる場所には絶対に設置しない

⃠ 禁止　エアバックが正常に動作せず、事故や、けがの原因となります。

### 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

❗　車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

## ⚠ 警　告

### DC12Vマイナスアース車で使用する

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24V車)には使用できません。火災や故障の原因となります。

### 車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。

### 振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

禁止

傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因となることがあります。

### 正しく配線を行う

誤った配線をすると発火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し、固定してください。

### はずれたり・落下しないように、しっかり取り付ける

ねじなどをご使用の場合、ねじが緩んでいたり、取付部の接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因となることがあります。

### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル、足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故や、けがの原因となります。

### 使用しないコードの先端などは、絶縁する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートして火災や感電の原因となります。

### 取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

禁止

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

### 配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす

バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショートして感電やけがの原因となります。

### パーキングブレーキコントロールの配線を正しく行う

安全機構が働かないと、交通事故の原因となります。

# 安全上のご注意（続き）



## ⚠ 警　告

### 分解や改造はしない

火災·感電の原因となります。内部の点検·調整·修理はサポートセンターにご依頼ください。

### 異物を入れない

機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災や感電の原因となります。

### 故障や異常のまま使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

直ちに使用を中止してサポートセンターにご相談ください。

### 電池などの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐ医師にご相談ください。

### 必ず規定容量のヒューズを使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

ヒューズの交換はお買い上げの販売店などの専門技術者にご依頼ください。

### 本体の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

### 走行中は適正な音量で使用する

車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

### 車載以外には使用しない

車載以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙·発火·感電やけが、故障の原因となる場合があります。

### 雷が鳴り出したらアンテナ線や本体には触れない

感電の原因となります。

### 本体や、リモコンをぬらしたりしない

火災や感電の原因となります。

### リモコンを放置しない

運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入りこむと、運転を妨げて交通事故の原因となります。

## ⚠ 注　意

**配線・取り付け / 取りはずしは、専門技術者に依頼する**

取り付けと配線は、専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**高温になる場所などに取り付けない**

禁止

直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や事故の原因となることがあります。

**リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管する**

ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

**車のバッテリーから電源をとっている場合は、エンジンを停止したままで長時間使用しない**

禁止

車のバッテリーがあがる恐れがあります。

**電池を入れるときには、極性表示(プラスとマイナスの向き) を守る**

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

**コードをかみ込ませたり、引っ張ったり、傷つけない**

禁止

ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

**必ず付属品や指定の部品を使用する**

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因となることがあります。

**水がかかる所やほこりの多い所に取り付けない**

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

# 取り扱い上のご注意



## 取り付けについて

- 本機を取り付けるときは運転の支障にならないようにご注意ください。
- 車内は非常に高温になることがあります。ダッシュボードの上、ヒーターの通風口、カーペットの下など高温が予想される場所には設置しないでください。
- 本機を置くときは、横向きや、斜めにならないように水平な場所に設置してください。

## お使いになるときは

- エンジンをかけてご使用ください。
  エンジンを止めた状態で長時間使用するとバッテリーが消耗します。
- リモコンの置き場所にご注意ください。
  リモコンがブレーキペダルの下などに挟まると運転に支障をきたす恐れがあります。
- 走行中は運転者が外の音を聞き取れるような音量に設定し、後部座席などでご使用ください。
- 正しく接続された場合、本機はパーキングブレーキのON/OFFと連動します。必ず車を停止させてから視聴してください。

## お手入れ

- お手入れをするときはエンジンを完全に切った状態にし、柔らかい布で拭いてください。
  汚れのひどいときは家庭用中性洗剤を薄めてしみこませた布でていねいに拭き取ってください。

## デジタル放送の受信について

- デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画像が止まったり、またはブロックノイズが出たりすることがあります。
- 車の移動で受信するため、家庭用の受信機に比べ、受信エリアが狭くなり、車の場所や、位置により受信しにくくなることがあります。
- 番組にコピーガードがかかっている放送を録画機器を通してモニターに接続すると、正常に受信できないことがあります。本機はモニターテレビに直接接続してください。
- 本機の受信周波数帯域(470 MHz～770 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を本体やアンテナ、アンテナケーブルの近くで使用すると映像や、音声に不都合が生じることがあります。その場合はそれらの機器を離してご使用ください。

## 免責事項

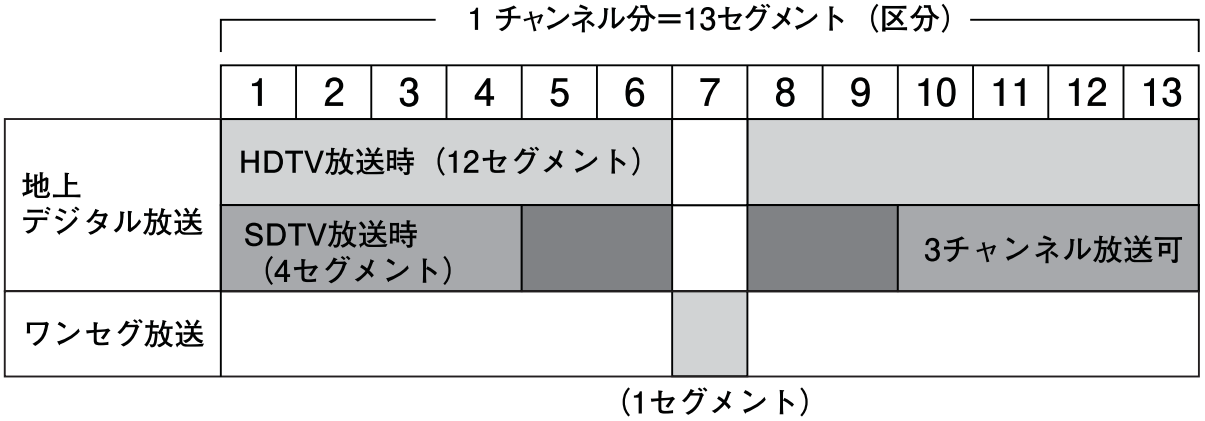
- 本製品の使用または使用できなかったことによって生ずる付随的な損害に関して、当社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機を修理するためにお預かりした場合、お客様の設定した個人データなどは消去されることがあります。
- 本機を日本国外で使用した場合、業務用(バス、タクシーなど)に使用した場合は保証の対象外となります。

# ご使用の前に

## 地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、今までのアナログUHF放送帯域を使用して、デジタルの特長であるゴーストのない鮮明な画像と、高音質、データ放送などの多チャンネル放送などを実現しています。

### 地上デジタル放送のイメージ




## ワンセグについて

「ワンセグ」は地上デジタル放送の１セグメント分を利用して、主に携帯･移動体向けにサービスを開始している放送です。「ワンセグ」は通常地上デジタルテレビと同じ放送をしています。
また、「ワンセグ」は地上デジタル放送に比べ、画質は劣るものの受信エリアが広く安定した画像と音声が楽しめます。

- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも 2006 年末までに放送が開始されています。「ワンセグ」は、2006 年４月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により、順次受信可能なエリアが拡大されています。ただし、放送局によっては、「ワンセグ」が放送されない場合もあります。
- 地上デジタル放送の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

**社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp**

**用語の説明**

**EPG（電子番組表）**

電波の空き部分を使ってテレビ放送の画面に番組表を表示するシステムです。

**枝番**

受信地域によっては同じ３桁のチャンネル番号で別の放送が受信できる場合があります。その場合さらに１桁の「枝番」が付けられ、その枝番を選ぶことによって、放送局を切り換えることができます。

**緊急警報放送**

地上デジタル放送、アナログ放送ＢＳなどで緊急時に放送されるものです。（本機では対応していません。）

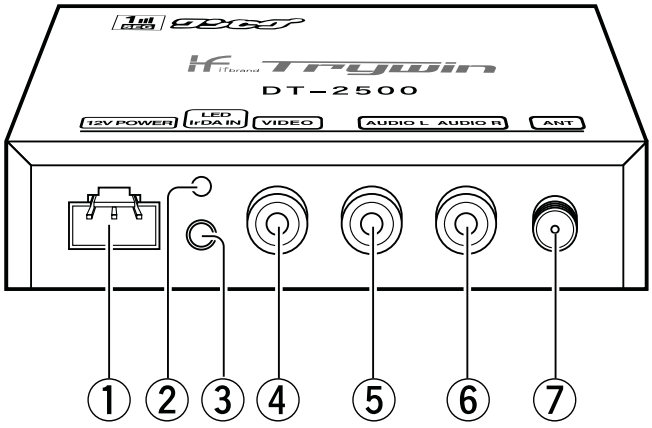
**物理チャンネル**

デジタル放送では実際に送信されている電波のチャンネルを物理チャンネルと呼び、リモコンなどに割り当てられる放送局のチャンネルと区別しています。

# 各部の名前



## 本体




① 12V POWER（電源入力）端子
電源用コードを接続します。

**[ご注意]**
**必ず付属の電源用コードを使用してください。**

② LED ランプ（電源表示ランプ）

③ IRDA IN（リモコン受光部）端子
付属のリモコン受光部を接続します。

④ VIDEO（映像出力）端子
付属の映像・音声コードの黄色いプラグを接続します。

⑤ AUDIO L（左音声出力）端子
付属の映像・音声コードの白いプラグを接続します。

⑥ AUDIO R（右音声出力）端子
付属の映像・音声コードの赤いプラグを接続します。

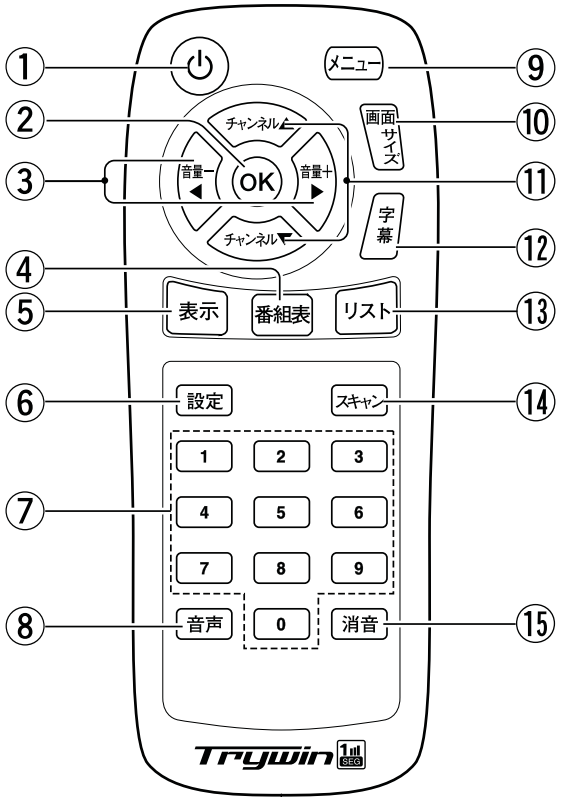
⑦ ANT（アンテナ）端子
付属のフィルムアンテナを接続します。

**[ご注意]**
**本機は専用アンテナに電源を供給する構造になっています。そのため付属品以外のアンテナを接続すると故障の原因となります。**

**ご注意**

- **電源の接続や、アンテナの取付には専門的な知識が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。**

## リモコン




① ⏻(電源)ボタン
本体の電源をオンまたはオフにします。

② OKボタン
各種設定の確定などに使います。

③ カーソル左/右(◀/▶)、VOL(ボリューム)+/VOL -(音量・増/音量・減)ボタン
各種設定メニューの移動や、音量の調節をします。

④ 番組表(EPG表示)ボタン
受信中の放送の番組表を表示します。
カーソル左/右ボタンを押すと前後の番組を表示することができます。

⑤ 表示ボタン
受信中のチャンネルの情報を表示します。

⑥ 設定ボタン
映像、字幕、音声や言語の設定をします。

⑦ 数字ボタン
チャンネル番号を直接数字で選ぶときに使います。

⑧ 音声ボタン
主音声、副音声、主音声+副音声の切り替えをします。

⑨ メニューボタン
画面にアイコンを表示させ各種設定などを行います。

⑩ 画面サイズボタン
画面のサイズを切り替えます。

⑪ カーソル上/下(▲/▼)、チャンネル▲/チャンネル▼ボタン
各種設定メニューの選択や前後の放送チャンネルに移動します。

⑫ 字幕ボタン
字幕の表示、非表示を切り替えます。

⑬ リストボタン
登録されている地域のチャンネルリストを表示します。

⑭ スキャンボタン
登録されている地域で受信できるチャンネルを自動的にサーチして登録します。

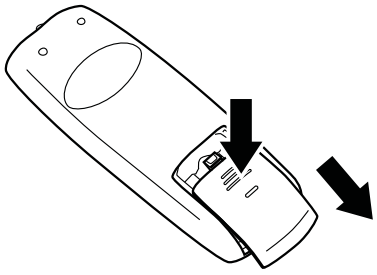
⑮ 消音ボタン
音声を一時的に消すときに使います。

# リモコンの準備



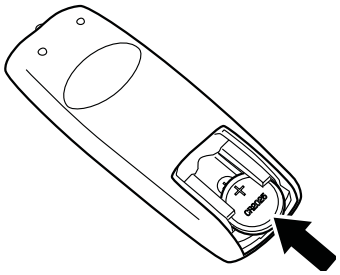
## リモコン用電池の入れかた

① 背面の電池ぶたを外す。



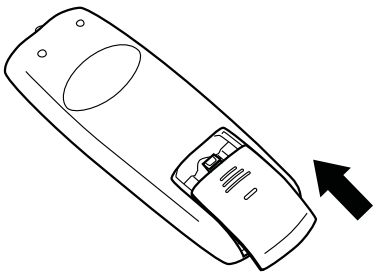
電池ぶたを押しながら
下へスライドさせます。

② 付属、または市販の電池（CR2025）をスライドさせて入れる。



電池は＋極を上にして
入れます。

③ 電池ぶたを取り付ける。

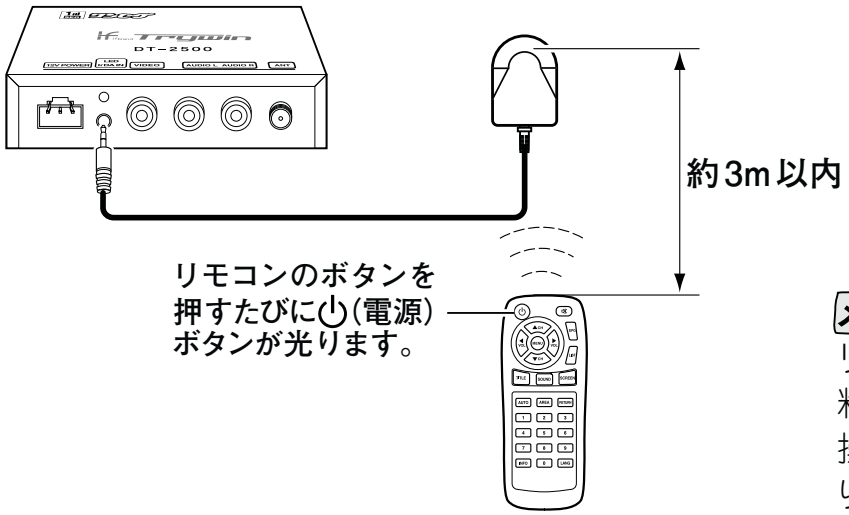


電池ぶたをスライドさせて
元通り取り付けます。

ボタンを押しても動作しなくなったときは電池の消耗が考えられますので、リモコンの電池を交換してください。

## リモコン操作をするには

1. リモコン受光部のプラグを本体「IRDA IN」端子にしっかりと差し込みます。
2. リモコン受光部を操作しやすい場所に取り付けます。
3. 操作をするときはリモコンを受光部から3m以内で正面に向けて操作してください。




**メモ**

リモコン受光部の背面には両面粘着テープを貼ってあります。操作しやすい場所を選んで、貼り付けてください。

**ご注意**

- リモコン受光部の端子は奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全だと映像が消えることがあります。また途中で抜けた場合は電源が切れることがあります。
- リモコン受光部を直射日光の当たる場所や、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。このような場合は受光部の位置を変えてください。
- リモコンや受光部は車のダッシュボードの上など、直射日光の当たる場所や高温になる場所に放置しないでください。ケースの変形、電池の破損や液漏れなどの原因となります。

# 電源をオン / オフするには

はじめに本体の設置と接続をしてください。(25 ～ 28 ページ参照)
設置と接続をするには専門的な知識が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。

## 電源をオンにする

### ① 車のエンジンをかける (ACC ON にする)。

### ② モニターの入力を本機に切り替える。

モニターの電源を入れます。
モニターに複数の機器が接続されている場合は、モニターの入力を本機に切り替えます。
モニターの取り扱いはモニターの取扱説明書を参照してください。

### ③ リモコンの⏻(電源) ボタンを押して電源をオンにする。

LED ランプが赤く点灯し、電源がオンになります。前回電源をオフにする前に放送を受信していれば、そのチャンネルが表示されます。

## 電源をオフにする

### ① もう一度リモコンの⏻(電源) ボタンを押す。

LED ランプが消灯し、電源がオフになります。
LED ランプが消えるまで 3 ～ 4 秒かかることがあります。

# 初めてお使いになるとき



ご購入後最初に放送を受信するときは、お住まいの地域を指定して放送局を登録する必要があります。

## 放送局を登録する

### ①⏻(電源)ボタンを押して電源をオンにする。

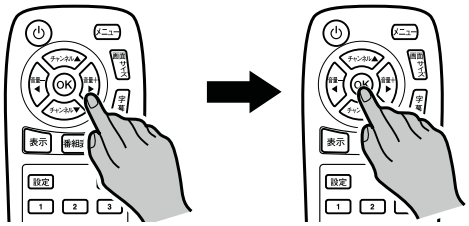
(13ページ参照。)

### ② メニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

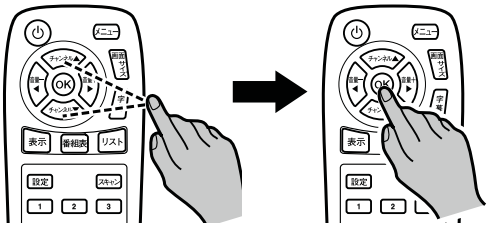
### ③カーソル右(▶)ボタンを押して「地域設定」を選択し、OKボタンを押す。

地方の一覧が表示されます。



### ④ カーソル上/下(▲/▼)ボタンを押してお住まいの地方を選択し、OKボタンを押す。

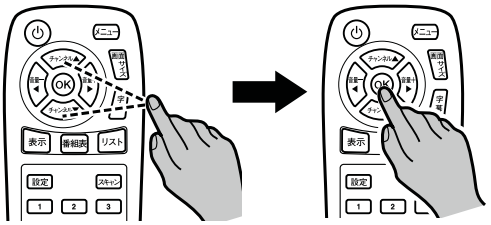
都道府県地域の一覧が表示されます。

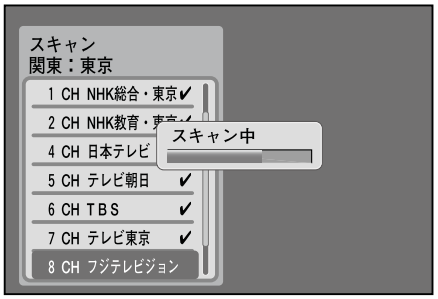


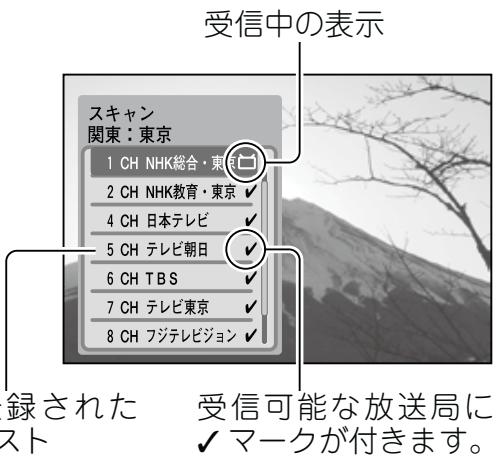
メモ ・「全域チャンネル」を選択するとすぐに放送局のサーチが始まります。
旅行先などで地域が分かりにくい場合などは「全域チャンネル」を選択します。

## ⑤ カーソル上/下(▲/▼)ボタンを押してお住まいの都道府県を選択し、OKボタンを押す。

受信できる放送局のサーチ(チャンネルスキャン)が始まります。
なお、チャンネルスキャン中は本機のLEDが点滅いたします。

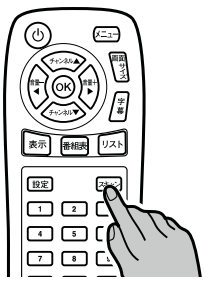





**メモ**

・引っ越しなどで受信地域が変わったときなどは再度登録し直してください。
・同一の地域で移動して、受信条件が変わったときなどは**スキャン**ボタンを押して再度チャンネルスキャンを実行してください。(**メニュー**ボタンを押し、「スキャン」を選択してチャンネルスキャンを実行することもできます。)
(21～22ページ)



**ご注意**

- **チャンネル登録を行うと、すでに登録してあったチャンネルはすべて消去されますのでご注意ください。**
- **移動しながら登録を行うと、登録できない場合があります。登録するときは車を止めから操作してください。**

# テレビ放送を見るには



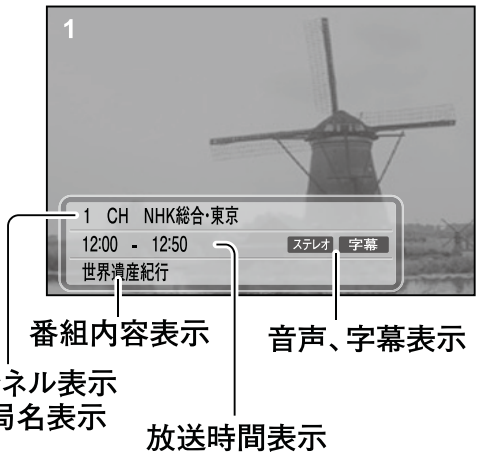
## チャンネル上 / 下（▲ / ▼）ボタンを押してチャンネルを順に選ぶとき

### ①⏻（電源）ボタンを押して電源をオンにする。

（13ページ参照。）
電源をオンにすると前回電源をオフにしたときに受信していたチャンネルを受信します。

### ② チャンネル上 / 下（▲ / ▼）ボタンを押してチャンネルを選ぶ。

ボタンを押すごとに登録された放送局を順に受信します。
チャンネル番号が画面左上に表示されます。




## 数字ボタンを押して直接チャンネルを選ぶとき

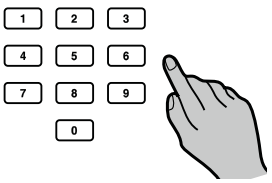
### ①⏻（電源）ボタンを押して電源をオンにする。

（13ページ参照。）
電源をオンにすると前回電源をオフにしたときに受信していたチャンネルを受信します。

### ② 数字ボタンを押して放送局を選ぶ。

選んだチャンネルの放送局を受信します。
チャンネル番号が画面左上に表示されます。

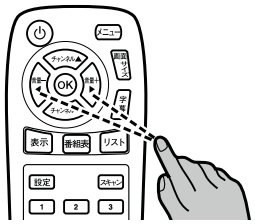
リモコンの「数字ボタン」で入力します。
例：チャンネル2の場合：“2”と入力。または“0”、“2”と入力。
チャンネル13の場合：“1”、“3”と入力。



## 音量を調節するには

- **音量-/+（◀/▶）ボタンを押す**

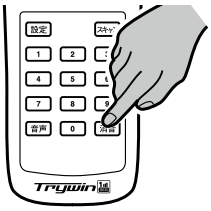
  音量-（◀）ボタンを押すと音量が小さくなります。
  音量＋（▶）ボタンを押すと音量が大きくなります。

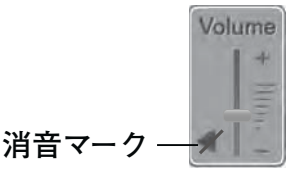


## 一時的に音を消すには

- **消音ボタンを押す**

  もう一度**消音**ボタンを押すか、音量-/＋（◀/▶）ボタンを操作すると元の音量に戻ります。
  また、画面中央に「消音マーク」が表示されます。






**ご注意**

- **地上ワンセグ放送は携帯機器用の放送のため、接続するテレビや、モニターの画面サイズによっては多少画面が粗く見えることがあります。**
- **地上デジタル放送の双方向サービスはご利用になれません。**
- **地上デジタル放送のデータ放送、緊急警報放送は受信できません。**
- **選局後、映像と音声の出力までに時間がかかることがあります。**

### リモコン番号（リモコンチャンネル）と物理チャンネルについて

本機の画面に表示されるチャンネル番号はリモコン番号と呼ばれ、それぞれの地域の放送局に割り当てられています。
それに対して、実際に送信されている周波数に割り当てられているチャンネルを、物理チャンネルと呼ばれ、地上波デジタル放送では、13チャンネル～62チャンネルまでを使用しています。
県境などで複数の放送局が同じリモコン番号で受信できる場合は、リモコン番号の後に“-1”、“-2”と表示されます。これを枝番といいます。

# いろいろな操作

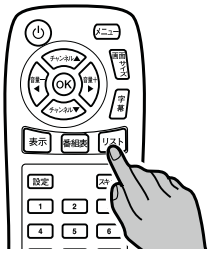


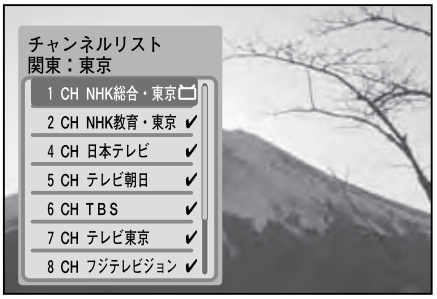
## チャンネルリストを表示して選局する

画面上にチャンネルリストを表示させてチャンネルを選ぶことができます。

### ① リストボタンを押す。

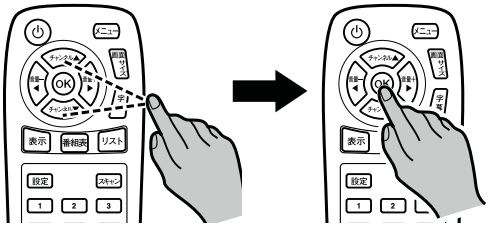
登録された放送局の一覧が表示されます。




### ② チャンネル上/下(▲/▼)ボタンを押して放送局を選択し、OKボタンを押す。

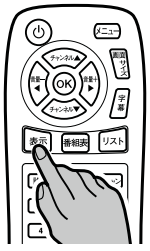
選んだ放送局を受信します。

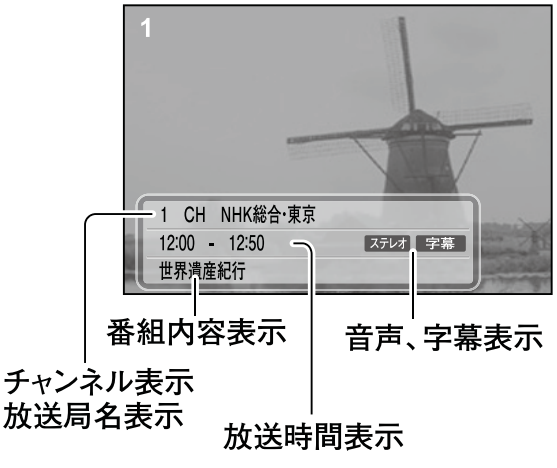


## 放送の情報を表示する

受信中の放送の情報を表示することができます。

- 表示ボタンを押す。



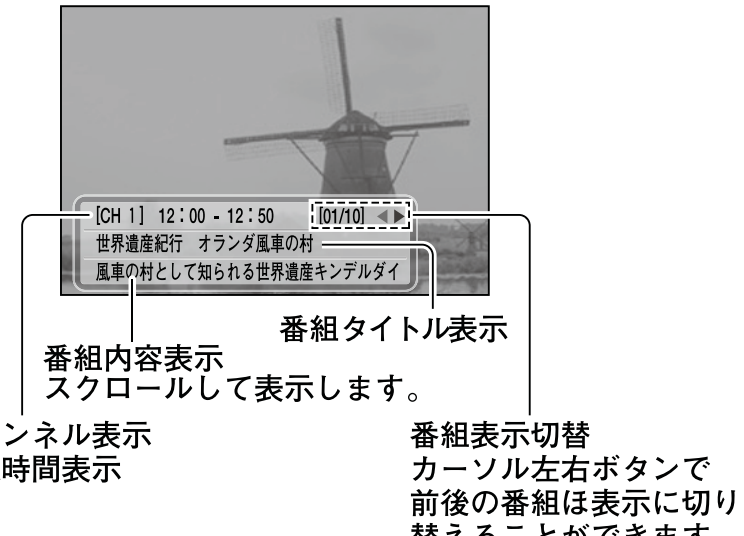

メモ ・ 約５秒間表示された後、表示が消えます。

# 電子番組表(EPG)を表示する

受信中の放送局の番組表を表示させることができます。

- **番組表ボタンを押す。**

  受信中の放送の番組が表示されます。




メモ
- データの取得から表示までに時間がかかる場合があります。
- 約15秒間何も操作をしないと表示が消えます。
- 番組内容表示のスクロールが15秒以上かかる場合があり、その場合はスクロール終了後、数秒間で表示が消える場合があります。

# 字幕の表示/非表示を切り替える

字幕放送をしている場合、字幕の表示/非表示を切り替えることができます。
この場合の字幕とは一般のテレビに表示される「テロップ」とは異なり、放送局から文字データとして送られてくるものです。

- **字幕ボタンを押す。**

  押すごとに字幕の表示/非表示が切り替わります。
  画面右上に字幕のオン・オフが表示されます。

  字幕オンの時:[**字幕ON**]
  字幕オフの時:[**字幕OFF**]

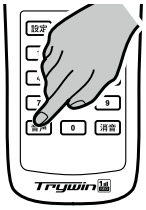
メモ
- データの取得から表示までに時間がかかる場合があります。
- 視聴中の番組で字幕用データが配信されていない場合は表示されません。
- **メニュー**ボタンを押し、「字幕設定」を選択して変更することもできます。

## 音声を切り替える

音声多重放送をしている場合は主音声、副音声と主音声＋副音声を切り替えられます。

- **音声ボタンを押す。**

  押すごとに音声が切り替わります。



音声多重放送をしている場合

主(•)主　主音声 ： 主音声が左右の音声出力端子から出力されます。
副(•)副　副音声 ： 副音声が左右の音声出力端子から出力されます。
主(•)副　主音声＋副音声 ： 主、副の音声がそれぞれ左右の音声出力端子から出力されます。

## 画面サイズを変更する

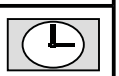
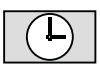
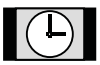
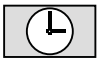
接続するテレビや、モニターの画面形状に合わせて画面サイズの変更をします。

- **画面サイズボタンを押す。**

  押すごとに「フル」と「ワイド」に画面が切り替わります。

「フル」の設定にすると：
画面いっぱいに映像を表示します。
ワイド画面のモニターに接続して従来のアスペクト比（画面の横と縦の比）4:3の映像を映すと、画像が横長になります。

「ワイド」の設定にすると：
ワイド画面のモニターに接続するときに選択します。
従来のアスペクト比4:3の映像を映すと、両脇に黒いスペースができます。

| 本機の設定 | お使いのテレビモニターが | |
|---|---|---|
| | 従来型（4：3） | ワイドスクリーン（16：9） |
| フル | 通常放送の見えかた ➡ | 通常放送の見えかた ➡  |
| | ワイド放送の見えかた ➡ | ワイド放送の見えかた ➡  |
| ワイド | 通常放送の見えかた ➡ | 通常放送の見えかた ➡  |
| | ワイド放送の見えかた ➡ | ワイド放送の見えかた ➡  |

※接続するテレビモニターの設定によっては画面表示が異なります。

# メニュー画面を使って操作をする

メニューボタンを押すと画面下に各種のアイコンが表示されます。
画面を見ながらカーソルボタンを使って地域設定など色々な操作をすることができます。

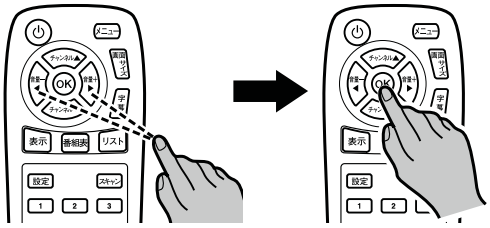
## 操作のしかた

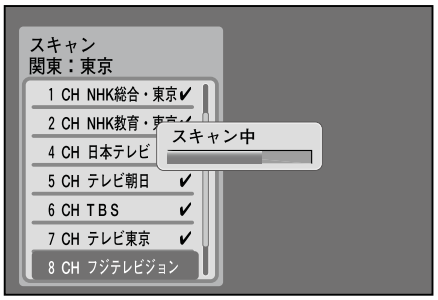
### ① メニューボタンを押す。

画面下にアイコンが表示されます。

### ② カーソル左/右(◀/▶)ボタンを押してアイコンを選択し、OKボタンを押す。

選んだアイコンの内容が表示されたり、または実行されます。

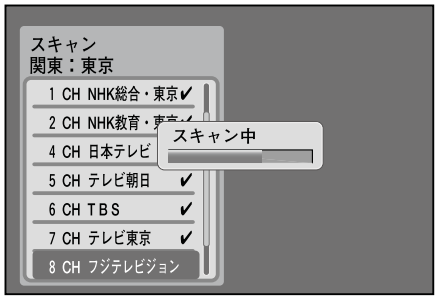



(スキャンを実行したとき)

## アイコンの説明

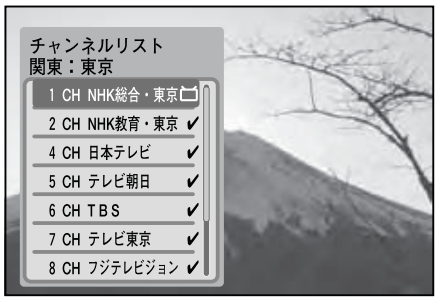
「地域設定」で設定された地域で受信できる放送局をサーチして、登録します。



登録された放送局のリストを表示します。

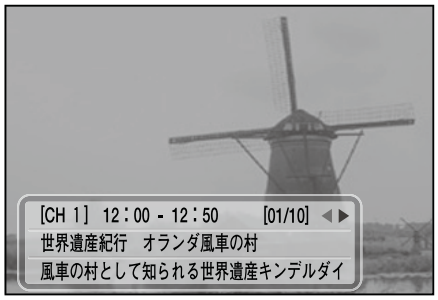
・表示されたリストから放送局を選んで選局することができます。
選局するには、カーソル上 / 下ボタンを押して選択し、OKボタンを押します。

メモ リモコンのリストボタンを押して表示させることもできます。（18ページ）



電子番組表を表示します。

メモ リモコンの番組表ボタンを押して表示させることもできます。（19ページ）



地域設定をします。

・お住まいの地域を指定して放送局を登録します。
詳細は14ページを参照してください。

映像、字幕、音声設定や言語設定をします。

・「セッティング」を選択すると設定アイコンが表示されます。
設定アイコンの詳細は24ページを参照してください。

メモ リモコンの設定ボタンを押して表示させることもできます。

# セッティング画面の操作

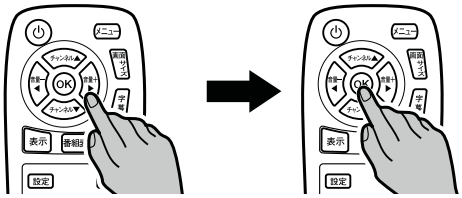
メニューボタンを押し「セッティング」アイコンを選ぶと各種の設定をすることができます。

## 操作のしかた

### ① メニューボタンを押す。

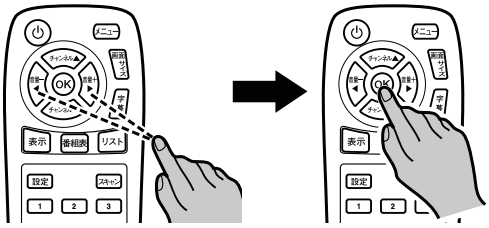
画面下にアイコンが表示されます。

### ② カーソル右(▶)ボタンを押して「セッティング」アイコンを選択し、OKボタンを押す。



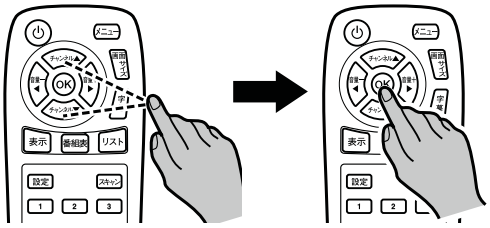
メモ リモコンの設定ボタンを押しても直接セッティングメニューを表示させることができます。

### ③ カーソル左/右(◀/▶)ボタンを押して設定するアイコンを選択し、OKボタンを押す。



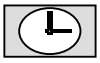
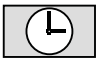
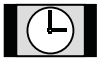
### ④ カーソル上/下(▲/▼)ボタンを押して設定する内容を選択し、OKボタンを押す。

設定を終了するときはメニューボタンを押します。



## アイコンの説明

接続するテレビや、モニターの画面形状に合わせて画面サイズの変更をします。

| 本機の設定 | お使いのテレビモニターが | |
|---|---|---|
| | 従来型（4：3） | ワイドスクリーン（16：9） |
| フル | 通常放送の見えかた ➡ | 通常放送の見えかた ➡  |
| | ワイド放送の見えかた ➡ | ワイド放送の見えかた ➡  |
| ワイド | 通常放送の見えかた ➡ | 通常放送の見えかた ➡  |
| | ワイド放送の見えかた ➡ | ワイド放送の見えかた ➡ |

※接続するテレビモニターの設定によっては画面表示が異なります。

メモ リモコンの画面サイズボタンを押して表示させることもできます。（20 ページ）

字幕放送をしている場合、字幕の表示、非表示を切り替えます。
この場合の字幕とは一般のテレビに表示される「テロップ」とは異なり、放送局から文字データとして送られてくるものです。

**字幕あり**：字幕の表示をします。
**字幕なし**：字幕の表示をしません。

メモ リモコンの字幕ボタンを押して表示させることもできます。（19 ページ）

音声多重放送をしている場合、音声の切り替えをします。

**主音声**　：主音声が左右の音声出力端子から出力されます。
**副音声**　：副音声が左右の音声出力端子から出力されます。
**主音声＋副音声**：主、副の音声がそれぞれ左右の音声出力端子から出力されます。

メモ リモコンの音声ボタンを押して表示させることもできます。（20 ページ）

メニュー画面などの画面表示の言語を設定します。

**日本語**：日本語で画面表示をします。
**英語**　：英語で画面表示をします。

# 設置と接続について

## ⚠ご注意

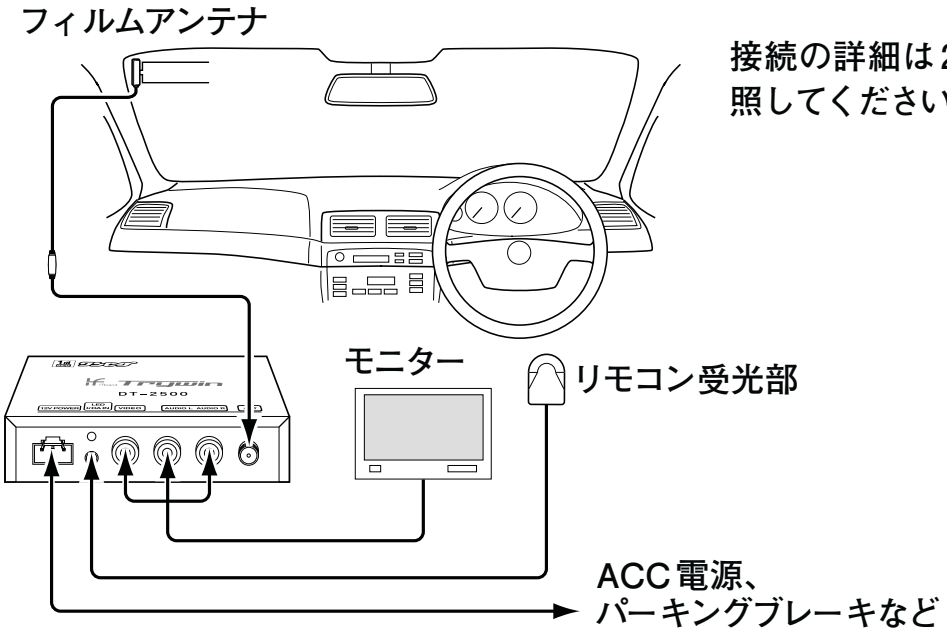
4ページ～7ページの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全に、正しく設置・接続をしてください。設置や接続は専門的な知識が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。

## ⚠アンテナ取り付け時のご注意

- 前方の視界を妨げる場所や、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けないでください。事故やけがの原因となります。
- アンテナははがれないようにしっかりと貼り付けてください。走行中にはがれると事故やけがの原因となります。
- コードの引き回しの際はシートレールやドアに挟み込まないように注意してください。断線の原因となります。
- 付属品以外のアンテナは使用しないでください。故障の原因となります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなどの電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
- 車種によっては取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。

## 設置とアンテナ取り付けの準備

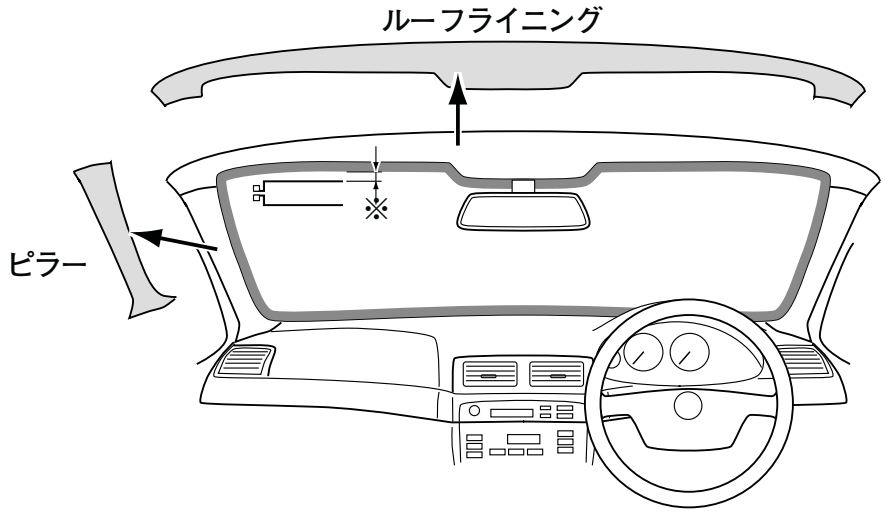
設置したりアンテナを取り付ける前に、市販のテープなどで仮止めをしてアンテナや、接続コードの配線が正常にできることを確認してください。



# アンテナの取り付け



## 1. 貼り付け位置を決め車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す

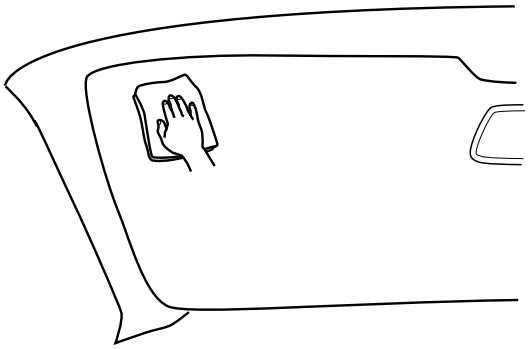



**ご注意**

・ 前方の視界を妨げる場所や、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。
事故や、けがの原因となります。

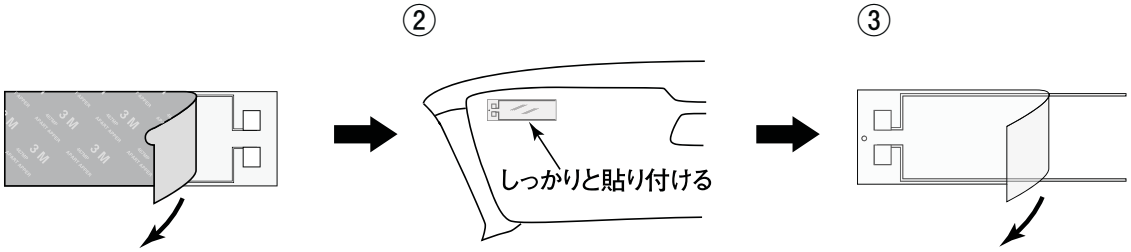
・ アンテナはフロントガラスの内側、左面に貼り付けます。
・ フロントガラスにセラミックラインのある場合は25mm以上離してください。
・ テレビ用など他のアンテナが貼り付けてある場合は、他のアンテナとの間隔を60mm以上離してください。

## 2. フロントガラスの内側の汚れを取り除く



仮止めに使ったテープや、マークを丁寧に取り除き、アルコールや、薄めた中性洗剤などでガラスの汚れや、油分をよく拭き取ります。
清掃した後は手を触れないようにし、十分に乾かします。

## 3. アンテナ背面の保護シートを取り外し、フロントガラスに貼り付ける



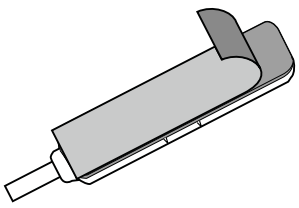

① 文字パターンの印刷された保護シートを丁寧に剥がします。
② 剥がした面をフロントガラス内側(左面)にしっかりと貼り付けます。
③ よく貼り付けた後、透明保護シートを丁寧に剥がします。

**ご注意**

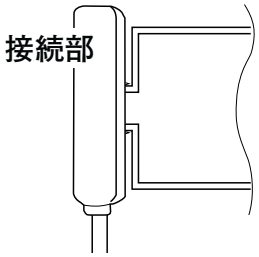
- 一度貼り付けると貼り直しができませんので、慎重に検討した上で貼り付けてください。
- アンプ部分を貼り付ける位置(左側部分の四角い面)をあらかじめアルコールなどで拭いて清掃してください。

## 4. アンプ部の保護シートを取り外し、アンテナ給電部に貼り付ける

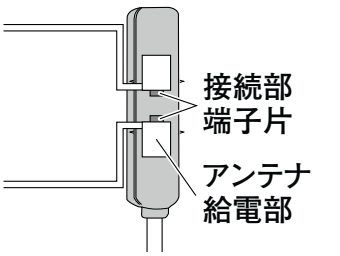
① 接続部の保護シートを丁寧に剥がします。
　このとき、端子片や、スポンジ部が損傷しないようご注意ください。



② 接続部の端子片がアンテナの左側の銀色部分に密着するように貼り付けます。



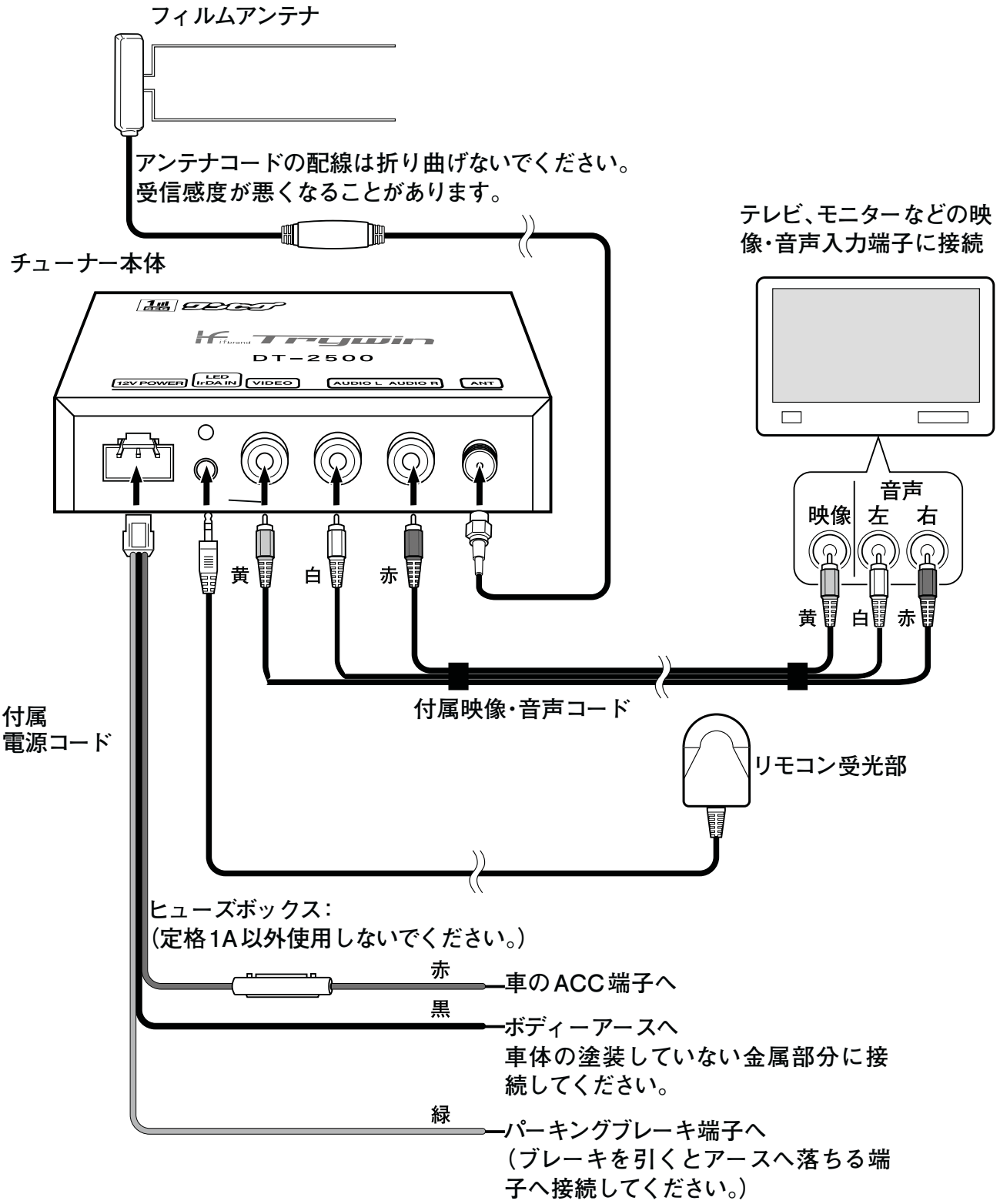

③ フロントガラスの前面から見て、接続部の端子片が両側に均等にはみ出していることを確認します。




## 5. 車の内張り(ピラー、ルーフライニングなど)を元に戻す

# 接続をする






**ご注意**

- 取り付けの際は、車のキースイッチをOFFの状態で、バッテリーのマイナス端子を外しておこなってください。
- 配線や設置は運転に支障がないよう、安全に十分ご注意ください。
- 各端子はしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全だと音声や映像が消えたり、電源が切れることがあります。
- 電源端子はカチッと音がするまで差し込んで外れないことを確認してください。

# 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。
それでもなお異常があるときは使用を中止して、トライウイン・サポートセンター（電話：0570-030-100）までご連絡ください。

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 映像も、音声も出ない（電源が入らない） | ・電源用コード、リモコン受光部は正しく接続されていますか? | ・接続を確認してください。 |
| | ・車のエンジンはかけていますか?（またはACC ONになっていますか?） | ・エンジンをかけてください。（またはACC ONに） |
| | ・リモコンの電源ボタンを押しましたか? | ・リモコンの電源ボタンを押してください。 |
| 映像も、音声も出ない（受信できない） | ・アンテナが正しく接続されていますか? | ・接続を確認してください。 |
| | ・電波の届くエリアですか? | ・送信所から近くても建物の陰など受信できない場合があります。場所を移動して確認してみてください。 |
| | ・接続端子が正しく接続されてますか? | ・接続を確認してください。 |
| 途中で電源が切れる | ・リモコン受光部の接続が途中で外れませんでしたか? | ・しっかりと接続してください。 |
| リモコンで操作できない | ・リモコン受光部は正しく接続されていますか? | ・接続を確認してください。 |
| | ・リモコンに電池は入っていますか? | ・リモコンに電池を入れてください。 |
| | ・リモコンの電池が消耗していませんか?または極性が間違っていませんか? | ・リモコン電池を交換してください。または極性を正しく入れ直してください。 |
| | ・リモコンと受光部の間に障害物がありませんか? | ・障害物などのない状態で3m以内で操作してください。 |
| | ・妨害電波などで操作ができなくなる場合があります。 | ・一度エンジンを切り（ACC OFF）、再度エンジンをかけ直して（ACC ONにして）ください。 |
| 電源を入れたときに「プツッ」と音が出る | ・本機の電源を入れたとき、接続したモニターまたはテレビから「プツッ」と音が出ることがあります。 | ・故障ではありません。 |
| 電源を入れても映像がすぐに出ない | ・マイコンの起動で多少時間がかかる場合があります。 | ・故障ではありません。 |
| 音声は出るが映像が出ない | ・パーキングブレーキをかけていますか? | ・正しく接続されている場合、パーキングブレーキをかけないと映像は出ません。 |
| | ・リモコン受光部の接続が不完全ではありませんか? | ・しっかりと接続してください。 |
| 地上デジタル放送が受信できない | ・ワンセグ放送以外の地上デジタル放送は受信できません。 | |
| | ・データ放送、緊急警報放送は受信できません。 | |

## マイコンリセットの仕方

本機はマイコンを内蔵しています。外部雑音や、妨害ノイズなどにより、正常に動作しなくなることがあります。その場合は一度エンジンを切り（ACC OFF）、再度エンジンをかけ直してください。

# 仕様



【本体】

| | |
|---|---|
| 品名 | 車載用ワンセグデジタルチューナー |
| 型番 | DT-2500 |
| 放送方式 | 地上デジタル放送ワンセグ（日本国内専用） |
| 受信チャンネル | 13 cH～62 cH（UHF） |
| 接続端子 | アンテナ入力端子 ： 専用コネクター<br>受信感度 ： - 94 dBm±2dB<br>出力端子 / レベル ： 3.5φ ピンジャック<br>映像：1.0 Vp-p/ 音声：700 mVrms<br>電源端子 ： 専用コネクター<br>リモコン端子 ： 3.5φ ー 2極ジャック |
| 電源電圧 | DC 12 V（マイナスアース車専用） |
| 消費電力 | 3 W（動作時） |
| 動作保証温度範囲 | 0 ℃～ +60 ℃ |
| 保存温度範囲 | - 20 ℃～ +70 ℃ |
| 外形寸法 | 110（W）×22（H）×74（D）mm（突起部を除く） |
| 質量 | 214 g（本体のみ） |

【リモコン】

| | |
|---|---|
| 使用電源 | DC 3 V（CR2025×1） |
| 操作距離 | リモコン受光部正面から約 3m 以内 |
| 外形寸法 | 44（W）×111（H）×18（D）mm |
| 質量 | 約41 g（電池を含む） |

本機の仕様、デザインは改善のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービスについて

## ■ 保証期間について

本機の保証期間はお買い上げ後1年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理させていただきます。

## ■ 修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、トライウイン・サポートセンター（電話：0570-030-100）にご連絡ください。

受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）10：00～18：00

# 保 証 書

| 型名:DT-2500 | 販売店名・住所・電話番号 |
|---|---|
| お買い上げ日<br>年　月　日 | |
| 保証期間(お買い上げ日から)<br>**1年間** | |

| お客様 | お名前 |
|---|---|
| | 電話番号:<br>ご住所　:(〒　　-　　) |

※太線枠内はお客様にてご記入願います。

〈無償修理規定〉

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 本書のご添付がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
(ヘ) 持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

本書は国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。


## 販売元:株式会社トライウイン

＜修理・お問い合わせ窓口＞

トライウイン・サポートセンター

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-677

TEL:(0570)-030-100

E-mail:support@trywin.co.jp

受付時間:月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)10:00～18:00